



リード125用 ヘッドライトコントローラー 取扱説明書

商品番号 : 05 08 0200
適応車種 : HONDA リード125
フレーム番号 : JF45 1000001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

リード125のヘッドライトをエンジン回転中のみ点灯するように制御する、弊社オリジナルのヘッドライトコントローラーです。キーON後エンジンを始動する前や、アイドルストップ動作時はヘッドライトを消灯させ、エンジン始動及びアイドルストップからの再始動によりヘッドライトを点灯させます。これによりエンジン停止時のヘッドライト消費電力を削減する事が出来、バッテリーの負担を軽減する事が可能となります。

取り付けは全てカプラーオンで接続出来、配線加工等は一切不要です。

ご使用前に必ずお読み下さい

併用出来ない部品について。

社外品のH.I.D.キットはバラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので、絶対に同時装着しないで下さい。

社外品の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う、放射ノイズの増大により誤動作や製品故障の原因となりますので使用しないで下さい。

社外品の発電装置は発電量の不足や電圧波形の違いにより故障の原因となりますので、使用しないで下さい。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。純正バルブでしか動作確認は行なっておりませんので、社外品バルブとの組み合わせ等をお問合せ頂いてもお答え出来かねます。

当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

また、リード125であってもベトナム仕様等の並行輸入車につきましては現車取り付け確認を行っておりませんので、対応可否については分かりかねます。

補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

本コントローラーが制御するのはロービーム側となります。ハイビーム側は純正と同じ動作となりますので、アイドルストップ時でも点灯します。

エンジン停止時にヘッドライトを消灯しますので、バッテリーの負担を軽減する効果がありますが、バッテリー上がりをおこさなくなる事を保証する物ではありません。

ヘッドライトスイッチではありませんので、任意にON/OFFする事は出来ません。

交差点で右折する際などにアイドルストップした場合、ヘッドライトが消灯する事で対向車からの被視認性が悪くなる恐れがありますので、危険が予想される場合は予めアイドルストップ・システムをOFFにして下さい。

ご使用にあたっての注意点

本製品は防水構造ではありません。

本製品、防水構造ではありませんので、水没すると本体に水が浸入し故障する可能性があります。

水が少々掛かる程度であれば問題ありませんが、水没したりしないように設置場所には注意を払って下さい。

また、出来る限りロータリースイッチ面が地面側を向くように設置して下さい。

絶対に分解や改造をしないで下さい。

破損や故障の原因となりますので、分解や改造を行わないで下さい。また、お客様で分解や改造をされた場合、点検等もお受けする事が出来ませんのでご注意下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行ってください。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

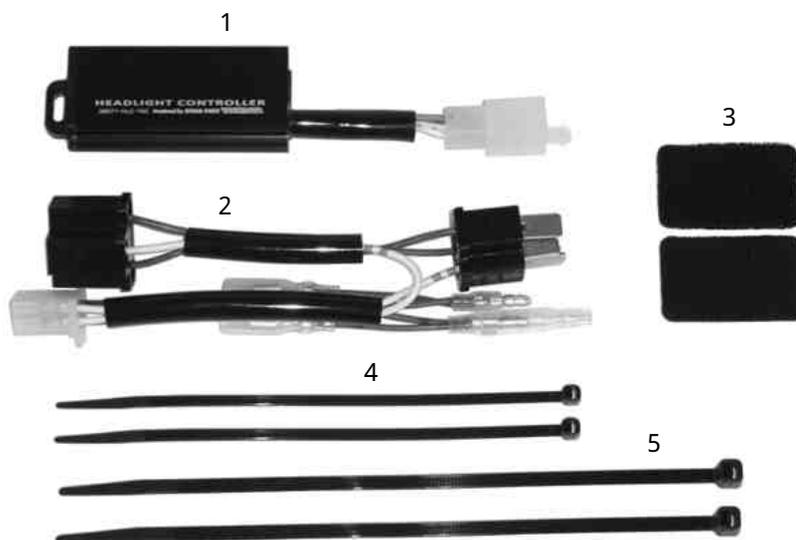
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	ヘッドライトコントローラーASSY.	1		
2	ボルトオンハーネスCOMP.	1	33150-K12-T00	1
3	マジックテープセット	1	00-00-0150	1
4	タイラップ 150mm	2	00-00-0135	10
5	タイラップ 200mm	2	00-00-0269	10

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～取 り 付 け 要 領～

はじめに

作業は水平で安全な場所で、センタースタンドを立てるなどして、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

外装部品などの取り外し・ヘッドライトコントローラーの接続

1. 純正サービスマニュアルを参照し、外装類を取り外します。

△注意：本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
スクーターの外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順に従い作業を行って下さい。
またカバー類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

2. 左右バックミラー根元のラバーブーツを引き上げ、14mmのレンチを用いて車両より取り外します。

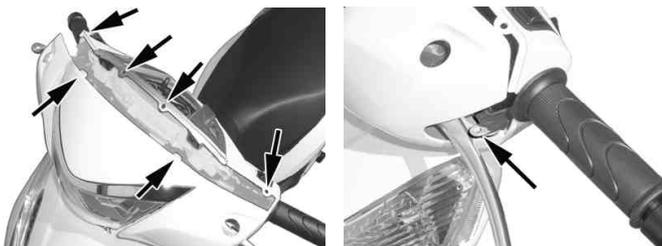


3. 図中矢印で示したスクリユ4本を取り外します。



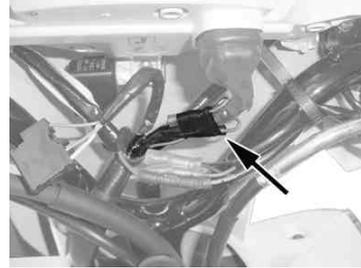
4. ハンドルバーフロンツカバーを車体から取り外します。
カバー上側にある爪を4箇所と、左右ブレーキレバー下側の爪2箇所を外しながら、スナップフィットクリップ2箇所を前方へ引き抜きます。

△注意：初めて車両からカバーを取り外す際は、爪やスナップフィットクリップがかなり硬く嵌っている為、非常に外しにくくなっています。十分注意して作業を行って下さい。
力任せに無理をするとカバーを割ってしまいますので、作業に不慣れな方は経験豊富な専門店で作業依頼する事をお勧めします。



カバーの固定が外れましたら、ヘッドライトバルブに接続されているヘッドライト3Pカブラの接続も外し、車両よりカバーを取り外します。

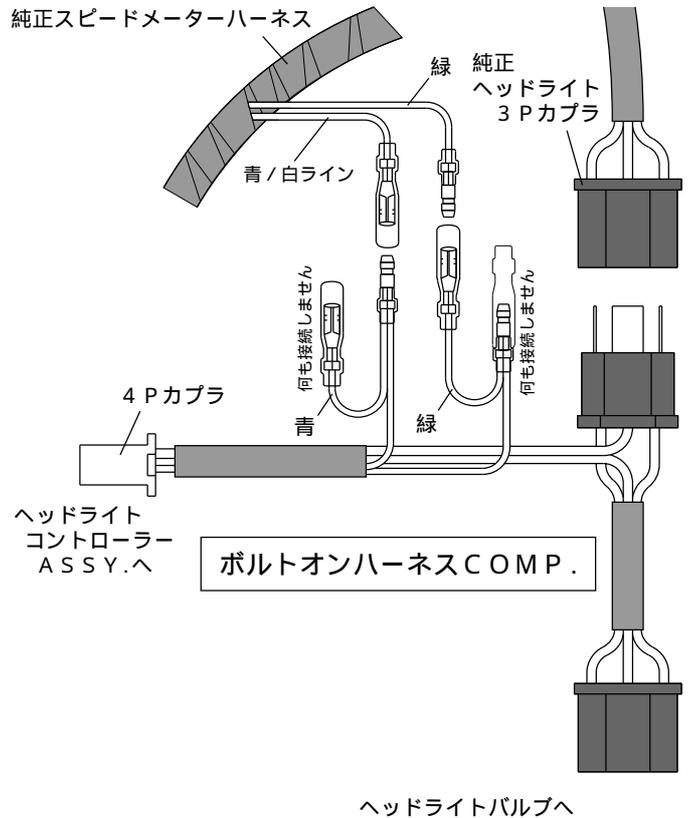
5. 純正スピードメーターハーネスの途中に、ビニールテープで巻かれている、青/白コード（メスギボシ端子つき）と緑コード（オスギボシ端子つき）がありますので、ビニールテープをほどいてギボシ端子を接続出来る状態にします。



6. 先ほど接続出来るようにしたギボシ端子と純正ヘッドライト3Pカブラに、キット付属のボルトオンハーネスCOMP.を接続します。

ギボシ端子は、車体側の青/白ラインコード（メスギボシ端子）にボルトオンハーネスの青コード（オスギボシ端子）を、車体側の緑コード（オスギボシ端子）にボルトオンハーネスの緑コード（メスギボシ端子）を接続します。

また、ボルトオンハーネスCOMP.の青コード（メスギボシ端子）と、緑コード（オスギボシ端子）は、オプション用端子の為、何も接続しません。
純正状態の様に、適宜ビニールテープで巻いてショート等しないようにしておいて下さい。



7. ヘッドライトコントローラー A S S Y . のロータリースイッチを、小さいマイナスドライバー等を用いて " A " に設定します。

ポイント：ここではリード 1 2 5 用の参考設定値として " A " を設定しています。

設定値の詳細については、後述の『ヘッドライトコントローラー A S S Y . の設定』をご参照下さい。



8. ヘッドライトコントローラー A S S Y . を、ボルトオンハーネス C O M P . の 4 P カプラに接続します。

ヘッドライトコントローラー A S S Y . の設定

弊社オリジナルのヘッドライトコントローラーは、バッテリーの単体電圧と、エンジン回転時（発電時）の電圧差を感知してヘッドライトを制御しております。

その為、車両の仕様や個体差による電圧の違いを、ヘッドライトコントローラー A S S Y . のロータリースイッチで対応する事が出来るようにしてあります。

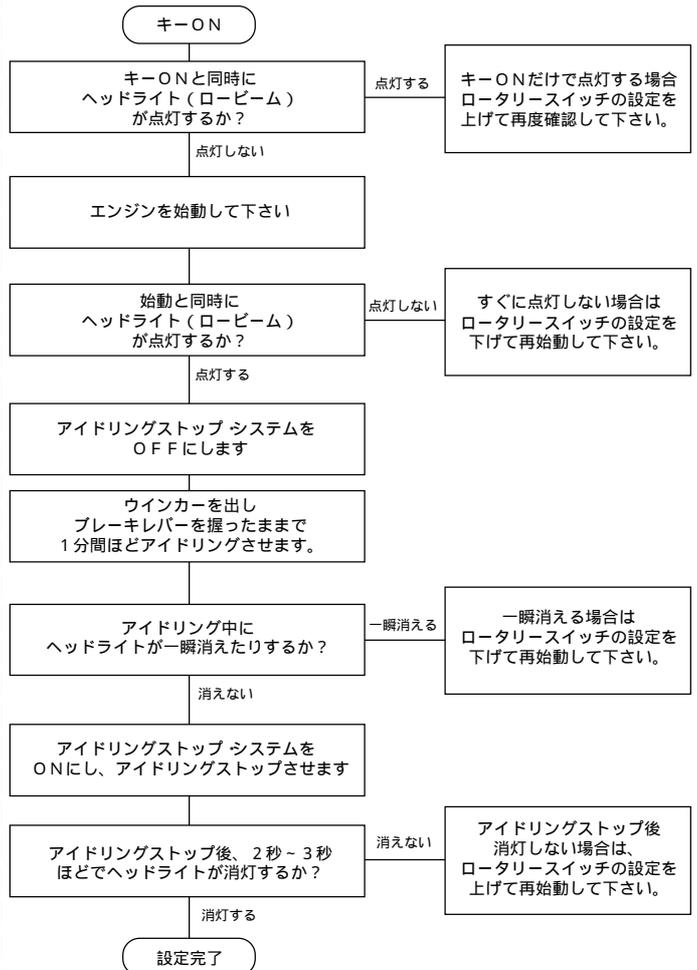
下記チャートに従い、設定値の確認・調整を行って下さい。

また、ライセンスプレート照明の L E D バルブ化や、グリップヒーターを装着（純正アクセサリ・社外品問わず）するなど、電装類パーツを変更したり、バッテリー交換した場合等は、再度設定の確認が必要となります。

△注意：ロータリースイッチは、中心部の矢印が指し示す数字もしくはアルファベットが設定値となります。
また、16進数表記となっていますので、“A”は10“F”は15相当となります。
調整は無段階ではなく、0を含めた16段階調整です。
必ずクリック感のある位置にして下さい。
クリック感の無い中間位置等では正しく動作しません。

ポイント：ロータリースイッチの設定を下げるというのは、8 7 という様に値を小さくする事です。

同様に上げる場合は、9 A というように値を大きくする事を指します。



外装部品などの復旧

1. 設定が終わりましたら、ヘッドライトコントローラーASSYを付属のマジックテープやタイラップでカバー内に固定します。
この時、必ず水が掛かりにくい位置に設置し、出来るだけロータリースイッチが地面側を向くように固定して下さい。

ポイント：設定を確認・調整する際の参考として、右レバーのマスターシリンダ前に別途スポンジ等を挟んでヘッドライトコントローラーを仮設置すると、ハンドルバーフロントカバーを外さなくても、右レバーまわりの隙間からロータリースイッチを調整する事が出来ます。
但し、本体がカバーに干渉する・雨などが掛かりやすい・ハーネス類に無理が掛かる などといった恐れがありますので、設定に問題が無い事を確認出来ましたら、カバーのより奥へ移設する事をお薦めします。



2. 取り外した外装類を元通り復旧します。

トラブルシューティング

キーONするだけでヘッドライトが点灯する	ロータリースイッチの設定を上げて下さい。
ウインカーを出している時などに、ヘッドライトが一瞬消える	ロータリースイッチの設定を下げて下さい。
長い距離を走行した後にアイドリングストップすると、なかなかヘッドライトが消えない	ロータリースイッチの設定を上げて下さい。但し上げすぎると、エンジン始動時になかなかヘッドライトが点灯しなくなったり、ウインカーを出している時などにヘッドライトが一瞬消える原因となりますので、確認と調整を行って下さい。
装着して調整を行ったが、しばらく使用するとヘッドライトが一瞬消えるようになった	装着した時よりバッテリーが弱ってきている事が考えられます。ロータリースイッチの設定を下げて下さい。
アイドリングストップと同時にヘッドライトが消えない	アイドリングストップ後、約2秒程度でヘッドライトが消える設定となっておりますので正常です。
ヘッドライトが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルトオンハーネスCOMPの接続に問題が無いか確認を行って下さい。ハーネスの青・緑コードが正しく接続されていなければ、ロービームは点灯しません。 ・ハイビームが点灯するか確認して下さい。ハイビームも点灯しない場合は、ボルトオンハーネスCOMPが確実に接続されているか、また車両側ヒューズに問題がないか確認を行って下さい。
グリップヒーターを使用すると、ヘッドライトが一瞬消える	弊社取り扱い商品には、リード125用のグリップヒーターがありませんので、個別には動作確認していませんが、グリップヒーターの電力消費により、バッテリー電圧が下がってしまっている事が考えられます。ロータリースイッチの設定を下げてみて下さい。

弊社推奨パーツについて

- ・アイドリングストップ動作時、ライセンスプレート照明等の灯火類は電力を消費しますので、弊社製LEDバルブキットをご使用頂く事で、さらにバッテリーへの負担を軽減させる事が可能となります。

ライセンスプレート照明用：LEDバルブ（ウエッジT10 ホワイト）
品番：05-08-0310

- ・バッテリーは満充電の状態をキープする事が長持ちさせる為の秘訣です。バッテリーの充電には、弊社取り扱いのCTEK社製バッテリーチャージャーをお薦め致します。

CTEK社製バッテリーチャージャー（武川スペシャルパック）
モデル：JS800 品番：08-02-0021
モデル：JS3300 品番：08-02-0022

弊社取り扱いのCTEK社製バッテリーチャージャーには、コンフォートインジケーターアilet（バッテリー電圧レベル表示LED付き、ワンタッチ接続コネクタ）が付属しておりますので、バッテリーに予めこのアiletを取り付けておく事で、一目でバッテリーのコンディションが確認出来、フロントカウルを分解する事なく簡単に補充電を行う事が出来ます。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田田市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>